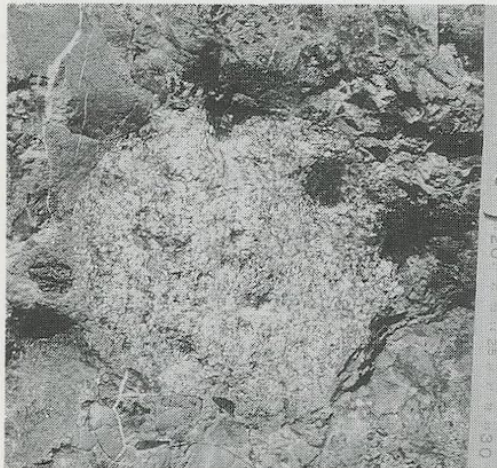


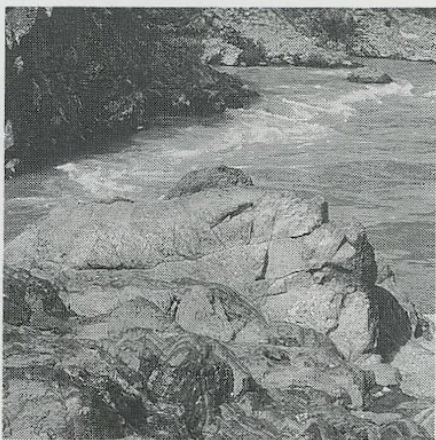
大地の生い立ち・美濃加茂① 20億年のロマン、上麻生礫岩

日本列島の大地は、その生い立ちを語るさまざまな時代の岩石でできています。その中で、七宗町上麻生の飛騨川河床には日本列島最古の岩石があります。

約2億年前、美濃地方はアジア大陸の周辺の海底にありました。その海底に堆積した地層が美濃地方には広く分布しますが、その中の上麻生礫岩にだけ日本列島最古の岩石が含まれていました。礫岩に入っている岩石は、砂岩、泥岩、石灰岩、チャートが主体ですが、片麻岩やオルソコーツアイトもあります。片麻岩に含まれる放射性元素で年代を測定したら、15〜20億年前の岩石であることが分かりました。



中央の白い部分が片麻岩の礫



飛騨川河床

また、オルソコーツアイトは、大陸でしかできない岩石のため、それがここにあることから、上麻生礫岩が堆積した海底は、大陸からそんなに遠い距離ではなかったといえます。約2億年前、美濃地方は大陸に近い海底にあって、大陸を形成していた古い片麻岩やオルソコーツアイトなどが礫となって、大量の砂や泥に混じって供給されていました。（博物館建設委員・鹿野勘次）

今回は、次の方々から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

（平成五年六月分）

○薬研、大鋸ほか 十点

（日比野実さん／御門町）

○戦時中の救急箱 一点

（西山節郎さん／森山町）

資料は見せていただくだけでも結構ですので、市社会教育課博物館建設係（内線三六二）まで情報をお寄せください。